

2021年8月10日

## 2022年3月期 第1四半期 決算概要

連 結

(単位:億円)

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比
受 注 高	1,862	2,415	552
売 上 収 益	2,175	2,452	276
営 業 利 益	▲ 79	202	281
税引前四半期利益	▲ 69	217	286
四 半 期 利 益	▲ 54	153	208
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	▲ 61	141	203
基本的1株当たり 四 半 期 利 益	▲ 41.49円	95.47円	136.96円

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示しています。



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月10日

上場会社名 **株式会社 I H I**

上場取引所 東 名 札 福

コード番号 7013 URL <https://www.ihico.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井手 博

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 福本 保明 TEL (03) 6204 - 7065

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・マスコミ向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	245,262	12.7	20,259	-	21,746	-	15,340	-	14,179	-	15,376	-
2021年3月期第1四半期	217,594	-	△7,916	-	△6,917	-	△5,468	-	△6,167	-	△3,731	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	95.47	95.46
2021年3月期第1四半期	△41.49	△41.49

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,771,849	341,564	314,401	17.7
2021年3月期	1,832,891	327,727	300,769	16.4

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年3月期	-	-	-	-	-
2022年3月期（予想）	-	30.00	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,180,000	6.0	70,000	150.3	60,000	117.3	35,000	167.3	235.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	154,679,954株	2021年3月期	154,679,954株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	6,161,289株	2021年3月期	6,165,348株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	148,517,035株	2021年3月期1Q	148,643,949株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しにのみ依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に与える重要な要素には、当社グループの事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載することとしております。

（国際財務報告基準（IFRS）の適用）

当社グループは、前連結会計年度の期末決算より国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）を適用しております。また、前四半期連結累計期間の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、業績回復が顕著な企業部門を中心に持ち直しが見られましたが、一部の産業においては、依然として新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の制限が続きました。また、世界経済についても、ワクチンの普及や経済政策により米国や中国を中心に持ち直してきているものの、変異株の感染拡大が本格的な回復の足かせになっています。

新型コロナウイルス感染症の影響については、当社グループの主力事業である民間向け航空エンジンにおいて、ワクチン接種の進む北米を中心に国内線の旅客需要回復に伴ってスペアパーツの販売が緩やかに回復しています。一方で、国際線については、感染力の強い変異株の世界的な感染拡大により、依然として入国制限規制が継続しています。ワクチン接種が進むことにより、国際線の旅客需要が高まり、民間向け航空エンジンの需要が新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで回復するのは、従前からの想定どおり2022年度以降と見込まれます。

このような事業環境下において、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は前年同期比29.7%増の2,415億円となり、売上収益についても、12.7%増の2,452億円となりました。

損益面では、すべての利益段階で黒字に転じています。営業損益は、有形固定資産等の売却に加え、カーボンソリューションの採算改善や車両過給機の販売台数増加などにより、281億円増益の202億円の利益となりました。税引前四半期損益は、286億円増益の217億円、親会社の所有者に帰属する四半期損益は、203億円増益の141億円の利益です。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は以下のとおりです。

(単位：億円)

報告セグメント	受注高			前第1四半期 連結累計期間 (2020.4～2020.6)		当第1四半期 連結累計期間 (2021.4～2021.6)		前年同期比 増減率 (%)	
	前第1 四半期 連結 累計期間	当第1 四半期 連結 累計期間	前年 同期比 増減率 (%)	売上収益	営業 損益	売上収益	営業 損益	売上収益	営業 損益
資源・ エネルギー・ 環境	458	608	32.9	640	△29	748	△2	16.8	—
社会基盤・海洋	289	447	54.5	319	17	346	24	8.4	38.1
産業システム・ 汎用機械	740	916	23.6	779	△14	888	29	14.0	—
航空・宇宙・防衛	319	388	21.8	427	△54	441	△69	3.4	—
報告セグメント計	1,807	2,361	30.6	2,166	△79	2,424	△18	11.9	—
その他	146	144	△1.7	94	△1	109	1	16.1	—
調整額	△92	△90	—	△85	1	△81	218	—	—
合計	1,862	2,415	29.7	2,175	△79	2,452	202	12.7	—

(注) 金額は単位未満を切捨て表示し、比率は四捨五入表示しています。

## (2) 財政状態に関する説明

## ＜資産、負債及び資本の状況＞

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1兆7,718億円となり、前連結会計年度末と比較して610億円減少しました。主な増加項目は、棚卸資産で265億円、契約資産で106億円、主な減少項目は、営業債権及びその他の債権で682億円、現金及び現金同等物で350億円です。

負債は1兆4,302億円となり、前連結会計年度末と比較して748億円減少しました。主な減少項目は、社債及び借入金(流動)で413億円、営業債務及びその他の債務で263億円です。

資本は3,415億円となり、前連結会計年度末と比較して138億円増加しました。これには、親会社の所有者に帰属する四半期利益141億円が含まれています。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末の16.4%から17.7%となりました。

## ＜キャッシュ・フローの状況＞

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比較して350億円減少し、857億円となりました。

営業活動によって得られた資金は16億円となりました。これは、棚卸資産及び前払金の増加や営業債務の減少があった一方で、営業債権の回収が進んだことによるものです。

投資活動によって得られた資金は91億円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出があった一方で、主に有形固定資産の売却による収入があったものです。

財務活動に使用された資金は458億円となりました。これは主に、借入金の返済による支出によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大による経済活動への制約が徐々に解消され、世界経済の回復が期待されますが、変異株の感染拡大に加えて、米中の政治、経済の対立や地政学リスクが世界経済の復興を阻む要因となり得るなど、引き続き景気の先行きについては不確実性が多く存在しています。また、地球規模の気候変動問題に対する国際的な関心の高まりや、投資家の期待を受けての企業のESG投資の拡大等、全世界においてサステナビリティを重視する流れが急加速しています。

これらの環境変化のスピードに対応すべく、当社グループは、収益基盤のさらなる強化とライフサイクルビジネスの拡大による成長軌道への回帰、持続可能な社会の実現に資する成長事業の創出を目的とする「プロジェクト Change」という取り組みを進めています。当第1四半期連結結果計期間においては、大型の商用石炭火力発電機におけるアンモニア混焼に関する実証事業の採択や、より安全性の高い小型モジュール原子炉(以下「SMR」)の開発を行っている米国 NuScale Power, LLCへの出資によるSMR事業への参画など、エネルギー分野における脱CO<sub>2</sub>の実現に向けた事業展開を開始しています。

通期の連結業績予想につきましては、前回発表予想(2021年5月13日)から変更はありません。本業績見通しにおける第2四半期連結会計期間以降の為替水準については、1米ドル=105円を前提としています。

利益配分につきましても、前回発表予想から変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	120,766	85,744
営業債権及びその他の債権	344,535	276,295
契約資産	111,830	122,452
その他の金融資産	1,391	3,216
棚卸資産	326,470	353,019
その他の流動資産	41,668	52,098
流動資産合計	946,660	892,824
非流動資産		
有形固定資産	252,510	245,802
使用権資産	117,794	116,515
のれん	5,876	5,744
無形資産	121,265	120,232
投資不動産	144,183	142,716
持分法で会計処理されている投資	48,460	54,683
その他の金融資産	49,056	47,258
繰延税金資産	70,455	70,094
その他の非流動資産	76,632	75,981
非流動資産合計	886,231	879,025
資産合計	1,832,891	1,771,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	234,451	208,090
社債及び借入金	158,377	117,041
リース負債	17,630	17,353
その他の金融負債	11,742	11,851
未払法人所得税	5,125	7,972
契約負債	165,818	168,378
引当金	26,738	24,970
その他の流動負債	144,907	132,231
流動負債合計	764,788	687,886
非流動負債		
社債及び借入金	304,735	306,966
リース負債	125,193	123,520
その他の金融負債	103,428	103,325
繰延税金負債	3,132	3,198
退職給付に係る負債	180,720	182,043
引当金	6,338	7,162
その他の非流動負債	16,830	16,185
非流動負債合計	740,376	742,399
負債合計	1,505,164	1,430,285
資本		
資本金	107,165	107,165
資本剰余金	51,735	51,637
利益剰余金	148,428	161,322
自己株式	△15,953	△15,943
その他の資本の構成要素	9,394	10,220
親会社の所有者に帰属する持分合計	300,769	314,401
非支配持分	26,958	27,163
資本合計	327,727	341,564
負債及び資本合計	1,832,891	1,771,849

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	217,594	245,262
売上原価	188,445	206,237
売上総利益	29,149	39,025
販売費及び一般管理費	37,128	40,418
その他の収益	1,321	22,980
その他の費用	1,258	1,328
営業利益又は営業損失(△)	△7,916	20,259
金融収益	665	595
金融費用	2,006	1,624
持分法による投資損益(△は損失)	2,340	2,516
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	△6,917	21,746
法人所得税費用	△1,449	6,406
四半期利益又は四半期損失(△)	△5,468	15,340
四半期利益又は四半期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△6,167	14,179
非支配持分	699	1,161
四半期利益又は四半期損失(△)	△5,468	15,340
1株当たり四半期利益又は		
1株当たり四半期損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益又は	△41.49	95.47
基本的1株当たり四半期損失(△)(円)		
希薄化後1株当たり四半期利益又は	△41.49	95.46
希薄化後1株当たり四半期損失(△)(円)		

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益又は四半期損失(△)	△5,468	15,340
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	331	△193
確定給付制度の再測定	183	△176
持分法適用会社におけるその他の包括利益	32	25
純損益に振り替えられることのない項目合計	546	△344
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,156	495
キャッシュ・フロー・ヘッジ	26	△102
持分法適用会社におけるその他の包括利益	9	△13
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1,191	380
税引後その他の包括利益	1,737	36
四半期包括利益	△3,731	15,376
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△4,529	14,127
非支配持分	798	1,249
四半期包括利益	△3,731	15,376

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	キャッシュ ・フロー・ ヘッジ	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定する 金融資産
2020年4月1日時点の残高	107,165	51,779	136,516	△15,899	△5,067	△255	5,406
四半期利益又は四半期損失(△)			△6,167				
その他の包括利益					974	120	361
四半期包括利益合計	—	—	△6,167	—	974	120	361
自己株式の取得							
自己株式の処分		3		78			
配当金			△2,980				
株式報酬取引		33					
支配継続子会社に対する持分変動							
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替			183				
その他			△96		△21		
所有者との取引額合計	—	36	△2,893	78	△21	—	—
2020年6月30日時点の残高	107,165	51,815	127,456	△15,821	△4,114	△135	5,767

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	確定給付制度 の再測定	新株予約権	合計			
2020年4月1日時点の残高	—	533	617	280,178	25,862	306,040
四半期利益又は四半期損失(△)			—	△6,167	699	△5,468
その他の包括利益	183		1,638	1,638	99	1,737
四半期包括利益合計	183	—	1,638	△4,529	798	△3,731
自己株式の取得			—	—		—
自己株式の処分		△80	△80	1		1
配当金			—	△2,980	△654	△3,634
株式報酬取引			—	33		33
支配継続子会社に対する持分変動			—	—	25	25
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	△183		△183	—		—
その他			△21	△117	△38	△155
所有者との取引額合計	△183	△80	△284	△3,063	△667	△3,730
2020年6月30日時点の残高	—	453	1,971	272,586	25,993	298,579

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年4月1日時点の残高	107,165	51,735	148,428	△15,953	1,102	△61	7,939
四半期利益又は四半期損失(△)			14,179				
その他の包括利益					423	△134	△165
四半期包括利益合計	—	—	14,179	—	423	△134	△165
自己株式の取得				△1			
自己株式の処分		4		11			
配当金							
株式報酬取引		△102					
支配継続子会社に対する持分変動							
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△940				764
その他			△345			△46	
所有者との取引額合計	—	△98	△1,285	10	—	△46	764
2021年6月30日時点の残高	107,165	51,637	161,322	△15,943	1,525	△241	8,538

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	合計
	確定給付制度の再測定	新株予約権	合計			
2021年4月1日時点の残高	—	414	9,394	300,769	26,958	327,727
四半期利益又は四半期損失(△)			—	14,179	1,161	15,340
その他の包括利益	△176		△52	△52	88	36
四半期包括利益合計	△176	—	△52	14,127	1,249	15,376
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分		△16	△16	△1		△1
配当金			—	—	△1,066	△1,066
株式報酬取引			—	△102		△102
支配継続子会社に対する持分変動			—	—	24	24
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	176		940	—		—
その他			△46	△391	△2	△393
所有者との取引額合計	176	△16	878	△495	△1,044	△1,539
2021年6月30日時点の残高	—	398	10,220	314,401	27,163	341,564

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失(△)	△6,917	21,746
減価償却費, 償却費及び減損損失	19,127	18,769
金融収益及び金融費用	564	404
持分法による投資損益(△は益)	△2,340	△2,516
有形固定資産, 無形資産及び 投資不動産売却損益(△は益)	△41	△21,778
営業債権の増減額(△は増加)	52,837	69,482
契約資産の増減額(△は増加)	△4,723	△10,667
棚卸資産及び前払金の増減額(△は増加)	△45,744	△27,685
営業債務の増減額(△は減少)	△31,655	△21,549
契約負債の増減額(△は減少)	19,616	2,368
その他	△22,882	△20,723
小計	△22,158	7,851
利息の受取額	106	94
配当金の受取額	514	530
利息の支払額	△1,158	△935
法人所得税の支払額	△4,002	△5,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	△26,698	1,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産, 無形資産及び投資不動産の 取得による支出	△24,978	△10,382
有形固定資産, 無形資産及び投資不動産の 売却による収入	36	24,772
投資(持分法で会計処理されている投資を含 む)の取得による支出	△245	△2,431
子会社持分の売却による収入	349	—
その他	272	△2,808
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,566	9,151

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△35,906	△74,270
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	43,000	50,000
長期借入れによる収入	1,977	2,500
長期借入金の返済による支出	△3,693	△7,683
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース負債の返済による支出	△4,763	△5,385
配当金の支払額	△2,830	△3
非支配持分からの払込による収入	25	24
非支配持分への配当金の支払額	△653	△1,051
その他金融負債の減少	△164	△252
その他	127	270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,880	△45,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	258	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△63,886	△35,022
現金及び現金同等物の期首残高	145,738	120,766
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△49	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,803	85,744

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、要約四半期連結財務諸表における法人所得税は見積年次実効税率を用いて算定しています。

(セグメント情報)

## (1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものです。

当社グループは、製品・サービス別のSBUを置き、それらを統括する事業領域を配置しています。各事業領域は、各SBUの事業戦略の実行を管理・監督し、SBUの事業戦略実行に必要な経営資源の配分を行なっています。SBUは事業領域の立案するビジョン・戦略に基づき、営業・開発・設計・生産・建設・サービスなどの一貫したビジネスプロセスを有する単位とし、SBUでの利益責任を負う事業遂行組織です。

従って、当社グループは事業領域別のセグメントから構成されており、「資源・エネルギー・環境」「社会基盤・海洋」「産業システム・汎用機械」「航空・宇宙・防衛」の4事業領域を報告セグメントとしています。上記の報告セグメントの決定に際して、集約された事業セグメントはありません。

各報告セグメントに属する主な事業、製品・サービスは以下のとおりです。

報告セグメント	主な事業、製品・サービス
資源・エネルギー・環境	原動機（陸用原動機プラント、船用原動機）、カーボンソリューション、原子力（原子力機器）
社会基盤・海洋	橋梁・水門、交通システム、シールドシステム、コンクリート建材、都市開発（不動産販売・賃貸）
産業システム・汎用機械	車両過給機、パーキング、回転機械（圧縮機、分離装置、船用過給機）、熱・表面処理、運搬機械、物流・産業システム（物流システム、産業機械）
航空・宇宙・防衛	航空エンジン、ロケットシステム・宇宙利用、防衛機器システム

## (2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントごとの情報は以下のとおりです。なお、セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

前第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	資源・ エネルギー ・環境	社会基盤 ・海洋	産業 システム・ 汎用機械	航空・ 宇宙・防衛	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	62,462	31,056	75,361	42,293	211,172	6,422	217,594	-	217,594
セグメント間の内部売上収益又は振替高	1,582	889	2,621	424	5,516	3,030	8,546	△8,546	-
合計	64,044	31,945	77,982	42,717	216,688	9,452	226,140	△8,546	217,594
セグメント利益又は損失(△) (注3)	△2,915	1,778	△1,421	△5,417	△7,975	△105	△8,080	164	△7,916

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で、検査・計測事業及び関連する機器等の製造、販売、その他サービス業等を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額339百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175百万円です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行なっています。

当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結
	資源・ エネルギー ・環境	社会基盤 ・海洋	産業 システム・ 汎用機械	航空・ 宇宙・防衛	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	74,281	33,588	86,861	43,692	238,422	6,840	245,262	-	245,262
セグメント間の内部売上収益又は振替高	526	1,045	2,029	459	4,059	4,135	8,194	△8,194	-
合計	74,807	34,633	88,890	44,151	242,481	10,975	253,456	△8,194	245,262
セグメント利益又は損失(△) (注3)	△265	2,456	2,902	△6,914	△1,821	194	△1,627	21,886	20,259

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で、検査・計測事業及び関連する機器等の製造、販売、その他サービス業等を含んでいます。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額156百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益21,730百万円です。全社収益は、主に有形固定資産売却益及び投資不動産売却益です。
3. セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行なっています。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。